日本海新聞　令和元年度８月１０日（土）

河川保全へ意識高める

清流の郷づくりフォーラム

香住

地域全体で井堰や河川環境の保全について考える「清流の郷づくりフォーラム」が9日、香美町の香住区中央公民館で開かれた。魚の往来を助ける魚道に関する講演や高校生の活動報告、有識者と地元関係者らのトークショーが行われ、参加者は河川保全への意識を高めた。

魚道整備に合わせて地域全体で河川の環境を守る「清流の郷づくり大作戦」の取り組みを広く知ってもらい、今後の活動を推進しようと県が主催。河川漁業や農業関係者、地域住民ら約300人が参加した。

講演では同作戦に協力する徳島大の浜野龍夫教授が、入り口が1カ所しかないなど従来の魚道の問題点を指摘。同作戦で採用した井堰の下流に石を組み上げて棚田状にする「水辺の小わざ魚道」の有効性や、整備に携わった高校生や河川漁業者の奮闘ぶりを紹介した。

「魚道から地域を変える」をテーマにしたトークショーには、河川漁業組合や河川の水を農業利用する土地改良区の代表者の他、魚道整備に関わる高校生、行政担当者、有識者が登壇。河川保全についてのそれぞれの思いや取り組み状況を述べた。（西村和晃）

日頃の河川保全活動や豊かな川への思いを語る登壇者＝９日、香美町の香住区中央公民館